

子ども食堂支援へ米

AMDA、6団体に720キロ

ひとり親や共働き世帯の子どもたちの居場所となる「子ども食堂」を支援しようと、国際医療ボランティアAMDA（岡山市北区伊福町）は17日、食堂を運営する岡山、倉敷、笠

岡市内の6団体に備蓄米720キロを贈った。贈呈式がきらめきプラザ（岡山市北区南方）であり、菅波茂理事長が「未来ある子どもたちのため、頑張って継続してほしい」と、出



席した4団体の代表らに目録を手渡した。

く杉本美緒代表(63) 同市中区原尾島 〓は

子ども食堂の代表者に備蓄米の目録を手渡す菅波理事長（左）

同市内で月に2日、「うのっこ食堂」を開

「食べ盛りの子どもたちが20人前後集まるので、助かります」と感謝していた。贈呈は、AMDAが中心となって2017年に設立した産学官民組織「子ども食堂支援プラットフォーム」の事業。年に4回、災害に備えて保管している米を県内の希望団体に贈っている。

（木村俊雄）